

日 時：令和5年1月12日（木）18時30分～19時40分

場 所：飛鳥会館

対象地区：町居

参加人数：16名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○冬期間の歩道確保について</p> <p>（市民から）</p> <p>広船橋から東小学校までの通学路において、夏場であれば幅は狭いが歩道があるものの、冬期間になると除雪による寄せ雪で歩道がなくなってしまう、歩いて通学するには、かなり危険である。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・全体的に道幅が狭く、常時歩道幅を確保することは難しい状況である。道路状況などをパトロールにて確認しながら、県へ排雪や車道拡幅などの要望を検討していきたいと考えている。
<p>○8月の大雨による被害について</p> <p>（市民から）</p> <p>自分のりんごの園地は、大雨の度に水路から水があふれている状況である。8月の大雨によって大きな被害が出ているため、カーブの部分、マスになっている部分について十分検討いただき、今後被害の出ないようにしっかりと修復工事を行っていただきたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・畑の場所や水路のつくりなど、現地を確認させていただきたい。
<p>○県立高校の全国募集について</p> <p>（市民から）</p> <p>1月3日付けの東奥日報にて、県立高校全国募集に関する記事が掲載されていた。特に鱒ヶ沢高校は生徒数が少ないこともあり、町民ぐるみで募集に取り組んでいると感じた。柏木農業高校についても、地域住民を使い、もっとPRすることができたのではないかと感じている。下宿場所も弘前市ではなく、学校に自転車で通学できる範囲の地域で、受け入れてもらえる方を探すことなどはできなかったのか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・下宿先を弘前市とした理由については、市内に下宿業を営んでいる方がいないということが挙げられる。近隣では、弘高下駅近隣の下宿から高校生の受入れ可能との回答

をいただいた。加えて、全国募集の要件ともなっている「身元引受人」についても了承との回答であったため、弘前市へ下宿先を求めたものである。通学時間も徒歩・鉄道を利用して、1時間程度となるが、全国募集への申込みのほとんどは、都会からの申込みであることも踏まえ、弘南鉄道の風景を見ながら通学することもPRの1つになると考えている。また、市内のホテル業・旅館業にも高校生の受入れについて打診はしたものの、よい返事は得られなかった。それらを踏まえ、下宿先を弘前市として全国募集にチャレンジしたという経緯がある。

○文書の電子化について

(市民から)

市・県・農協などから発出される通知文書で、自宅の郵便物がとても多いため、これらを希望者だけでも電子化できないか。電子化できれば、市の郵便料の減少が見込めるほか、自分のスケジュール管理の負担の緩和にもなると考えている。

(市から)

・先日、市の中でも規則のようなものをつくり、市民への通知や市が発出する文書をデジタル化できるよう体制を整備中である。パソコン等を使えない方もおり、デジタルとアナログのどちらも満足できるサービスについて各課と話し合っていく予定である。現在の通知等について、紙媒体ではなく電子化を希望されるようであれば、担当課へご相談いただきたい。

○印鑑証明のコンビニ交付について

(市民から)

マイナンバーカードが保険証としても使えるようになり、便利に感じているところがあるが、印鑑証明が急遽必要となったことがあり、他市町村の方は日曜でもコンビニエンスストアで取得することができた。自分も休日に取得できるのかと思い、市内のコンビニエンスストアで試したところ、平川市は対応していなかった。今後、コンビニで印鑑証明の取得について対応する予定はあるか。

(市から)

・印鑑証明については、当市はコンビニエンスストアでは印鑑証明や住民票は取得できない状況である。以前、コンビニエンスストアでの交付を検討したが、1通に2,000円かかるため、費用対効果を考慮し、頓挫した経緯があるが、DX基本方針にはコンビニエンスストアでの交付を再度検討することとして掲載している。また、LINEを使用して印鑑証明や税証明等を取得やキャッシュレス決済できるよう検討中である。

○小中学校の統廃合について

(市民から)

今後の小中学校の統廃合について、どのようになるのか。また、現在の進捗状況について伺いたい。

(市から)

学校適正配置計画として、令和4年1月に保護者に対しアンケートをとったところである。統廃合の検討がなされているのは、大坊小と柏木小、竹館小と平賀東小の統合である。大坊小学校は令和6年度から、児童数が少なくなるため、2つの学年を1つにする複式学級になる見込みであり、竹館小では、令和9年度より複式学級となる見込みである。